

10 月 11 日：売りが加速し、VN 指数は大幅下落

火曜日のベトナム市場はボラタイルな値動きとなり、反落して取引を終えた。大量の売りを受けて下落したマーケットで底値を拾う投資家の買い需要はいまひとつだった。

ホーチミン市場の VN 指数は 3.48% 安の 1,006.20 ポイントで取引を終えた。同指数は月曜日に 0.63% 高で取引を終えていた。

投資感情はネガティブで、多くの銘柄が下落した。騰落別では 435 銘柄が下落、46 銘柄が上昇した。

ホーチミン市場の出来高は前日と比べて増加し、売買高は 6 億 7,200 万株以上、売買代金は 12 兆 9,000 億ドン（5 億 3,900 万米ドル）となった。

VN30 指数は 3.59% 安の 1,001.68 ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、28 銘柄が下落、1 銘柄が上昇し、残りの 1 銘柄は変わらずだった。

値下がり銘柄では、軍隊商業銀行（MBB）-6.96%、PV パワー（POW）-6.82%、SSI 証券（SSI）-6.9%、サコムバンク（STB）-6.76%、テクコムバンク（TCB）-6.98%、TP バンク（TPB）-6.97%、ビンコムリテール（VRE）-6.89% の下げが目立った。

長引く売りは多くの主要セクターに影響を与えた。セクター別では、全 25 業種すべてが下落した。

値下がりセクターには、保険、石油ガス、銀行、卸売、ゴム製品、IT、物流、農業、不動産、食品飲料、小売、ヘルスケア、水産加工品、建設資材、証券、プラスチック、化学製品が含まれた。

ハノイ市場の HNX 指数も大きく反落、4.82% 安の 218.78 ポイントで取引を終えた。同指数は前日 1.66% 高の 229.85 ポイントで引けていた。

ハノイ市場の売買高はおよそ 7,390 万株、売買代金は 1 兆 1,000 億ドンとなった。

「外国人投資家の売買に関すると、外国人投資家はホーチミン、ハノイ両市場で買い越した。今後、VN 指数は 1,000 ポイント付近を挟んでの値動きとなる可能性がある」
(BIDV 証券)

外国人投資家はホーチミン市場でビンググループ (VIC) 655 億 6,000 万ドン、ドゥックザン化学 (DGC) 490 億 1,000 万ドンを含む、合わせて 1,599 億 2,000 万ドンを買い越した。またハノイ市場で 20 億 5,000 万ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。